

三菱総合研究所、九電みらいエナジーへ蓄電池の最適運用計画の策定を支援

独自の予測・最適化アルゴリズムにより電力需給バランスの安定化に寄与

株式会社三菱総合研究所(代表取締役社長執行役員:籾田健二、以下 MRI)は、九電みらいエナジー株式会社(代表取締役社長執行役員:水町豊、以下 九電みらいエナジー)が運用する系統用蓄電池に対して、独自の予測・最適化アルゴリズムを用いて日々の最適運用計画を策定するサービス「MERSOL Operations」の提供を開始しました。

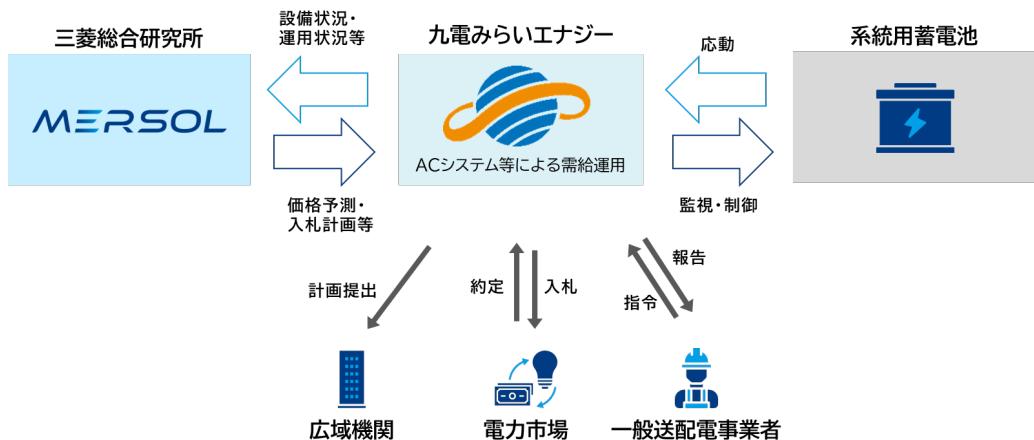
1. 背景

再生可能エネルギーの導入拡大に伴い、天候などによる発電量の変動を背景として、電力の需給バランスや品質の確保が大きな社会課題になっています。蓄電池を含めた分散型エネルギー資源(DER)はこうした課題を解決する重要な手段であり、その有効活用が求められています。こうした背景のもと、MRIは2022年11月からDER運用支援サービス「MERSOL」※1の運用を開始し、事業性評価と実運用支援を提供すると共に、蓄電池事業に参画してきました。2024年4月には、蓄電池の最適運用計画を策定支援するサービス「MERSOL Operations」※2を開発しました。

今般、九州電力株式会社の100%子会社である九電みらいエナジーが運用する系統用蓄電池に対して、日々の最適運用を策定するMERSOL Operationsのサービス提供を開始しました。

2. 概要

MERSOL Operationsは日々の入札計画、充放電計画の策定を支援するサービスで、MRI独自のアルゴリズムによってスポット市場のほか、時間前市場、需給調整市場などの価格も予測します。価格予測に基づいて最適な充放電計画を策定し、対象となる電力市場の制約条件を加味した入札計画をリアルタイムで提供することで、九電みらいエナジーが受託している蓄電所の需給運用の一部を支援します。



三菱総合研究所作成

3. 今後の予定

蓄電池をはじめとした DER の活用は脱炭素社会の実現に不可欠です。MRI は今後も電力市場の変化や制度変更をタイムリーに反映し、MERSOL 事業を通じて DER 事業の収益性改善・予見性向上に貢献します。

※1 MERSOL(マーソル)は MRI Energy Resource Solution の略。

[三菱総合研究所、分散型エネルギー資源運用支援サービス「MERSOL」の提供を開始](#)

※2 [三菱総合研究所、分散型エネルギー資源運用計画策定サービス「MERSOL Operations」を提供開始](#)

<参考>

九電みらいエナジー株式会社 企業概要

名称:九電みらいエナジー株式会社

所在地:〒810-0022 福岡県福岡市中央区薬院 3-2-23 KMG ビル 8 階

代表者:代表取締役社長執行役員 水町 豊

事業内容:再生可能エネルギー発電事業(太陽光・風力・バイオマス・地熱・水力発電の開発～運営、販売)

資本金:154 億 6015 万円(2025 年 4 月 8 日時点)

設立年月日:2014 年 7 月 1 日

企業サイト:<https://www.q-mirai.co.jp/>

<関連情報>

[サービスサイト | MERSOL](#)

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所

〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【サービスに関するお問い合わせ】

エネルギー・サステナビリティ事業部門 新事業開発センター 杉谷、奥村

メール:mersol-contact@ml.mri.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

広報部

メール:media@mri.co.jp

本資料は、経済産業記者会、経済産業省ペンクラブ、環境省記者クラブ、環境記者会、および当社にてコントクトのある記者の方々にもご案内しています。